

VCS でコールがトラバーサル コール ライセンスを使用するのはいつですか。

内容

[概要](#)

[VCS でコールがトラバーサル コール ライセンスを使用するのはいつですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway に関連しています。

Q. VCSのコールでトラバーサルコールライセンスが使用されるのはいつですか。

A. VCSがメディアとシグナリングを受け取るコールはすべてトラバーサルコールで、そのVCS上でトラバーサルコールライセンスを使用します。次のコールでは、VCSがメディアを受け取る必要があるため、トラバーサルコールが発生します。

- VCS Controlの場合、トラバーサルサーバとの間のコール (ファイアウォールトラバーサルコールなど)
- VCS Expresswayでは、トラバーサルクライアントとの間のコール (ファイアウォールトラバーサルコールなど)
- トラバーサルクライアントには、他のVCS、ゲートキーパー、ボーダーコントローラ、トラバーサル対応エンドポイントが含まれます
- ローカルVCS上のH.323とSIPの間でゲートウェイ (インターワーキング) されるコール
- ローカルVCS上のIPv4とIPv6の間でゲートウェイ (インターワーキング) されるコール
- デュアルネットワークインターフェイスが有効なVCSの場合、一方のLANポートから着信し、他方のLANポートから発信するコール
- 参加者の1人がNATの背後にいる場合のSIP間コール (両方のエンドポイントがNATトラバーサルにICEを使用していない場合)

また、VCS Expressway上の非トラバーサルコールは、使用できる非トラバーサルコールライセンスがない場合 (VCSバージョンX5以降を使用している場合) は、トラバーサルライセンスを消費します。

コールは、1つのVCS上のトラバーサルコールであっても、コールルート内の別のVCS上のローカル (非トラバーサル) コールであっても、メディアを受け取るためにルート内の各VCSが必要かどうかによって異なることに注意してください。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)